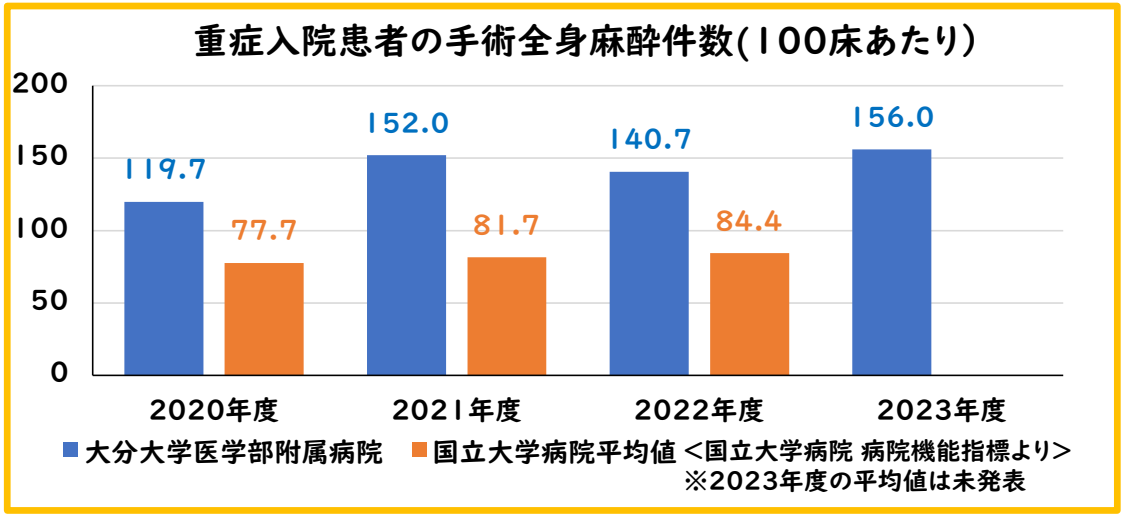
29　重症入院患者の手術全身麻酔件数

手術部

◆解説◆

心臓の働きが悪くなる心不全という疾患をもつ患者さんなど、重症な患者の手術を行うことも国立大学病院の社会的責任の一つといえます。重症な患者に全身麻酔をかけて手術する場合は、生命の危険をはじめ様々な危険が伴います。従って、手術中のみならず手術前後で十分に患者を観察し、慎重な麻酔を行える体制が必要になります。この指標は、麻酔管理の難しい重症患者の手術において、必要な麻酔に対応する能力の高さともいえます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

当院では、重症患者の手術件数が全国平均より多くなっています。

地域の中核病院として、設備・技術的に全身麻酔の対応が困難な患者の受け入れを行っていることを示す結果であると言えます。

術後は集中治療部と連携し、高度で安全な医療の提供を目指しています。

◆定義◆

当院で重症入院患者に施行した全身麻酔手術件数
(「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数)